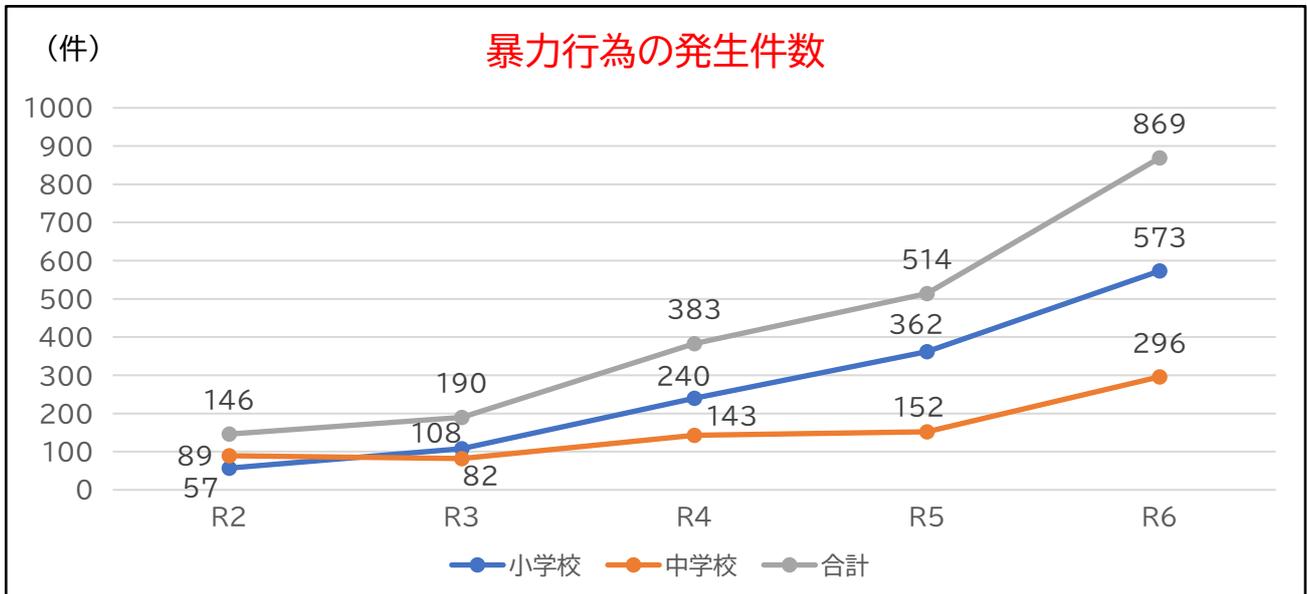


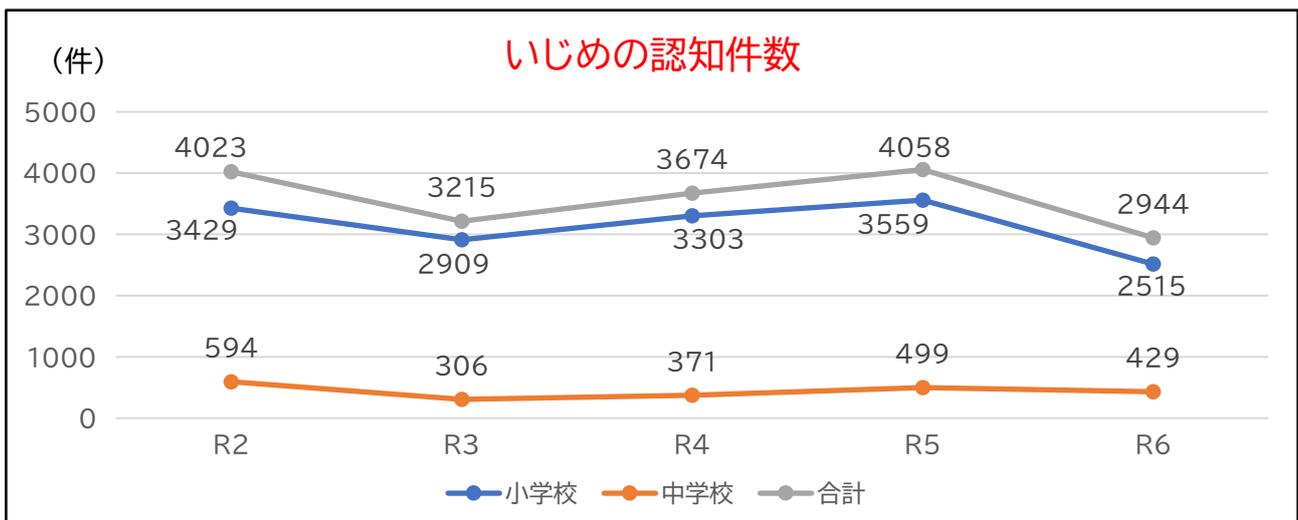
「令和6年度生徒指導状況報告」の結果報告について

1 暴力行為(対教師暴力、生徒間暴力、対人暴力、器物損壊)の状況について



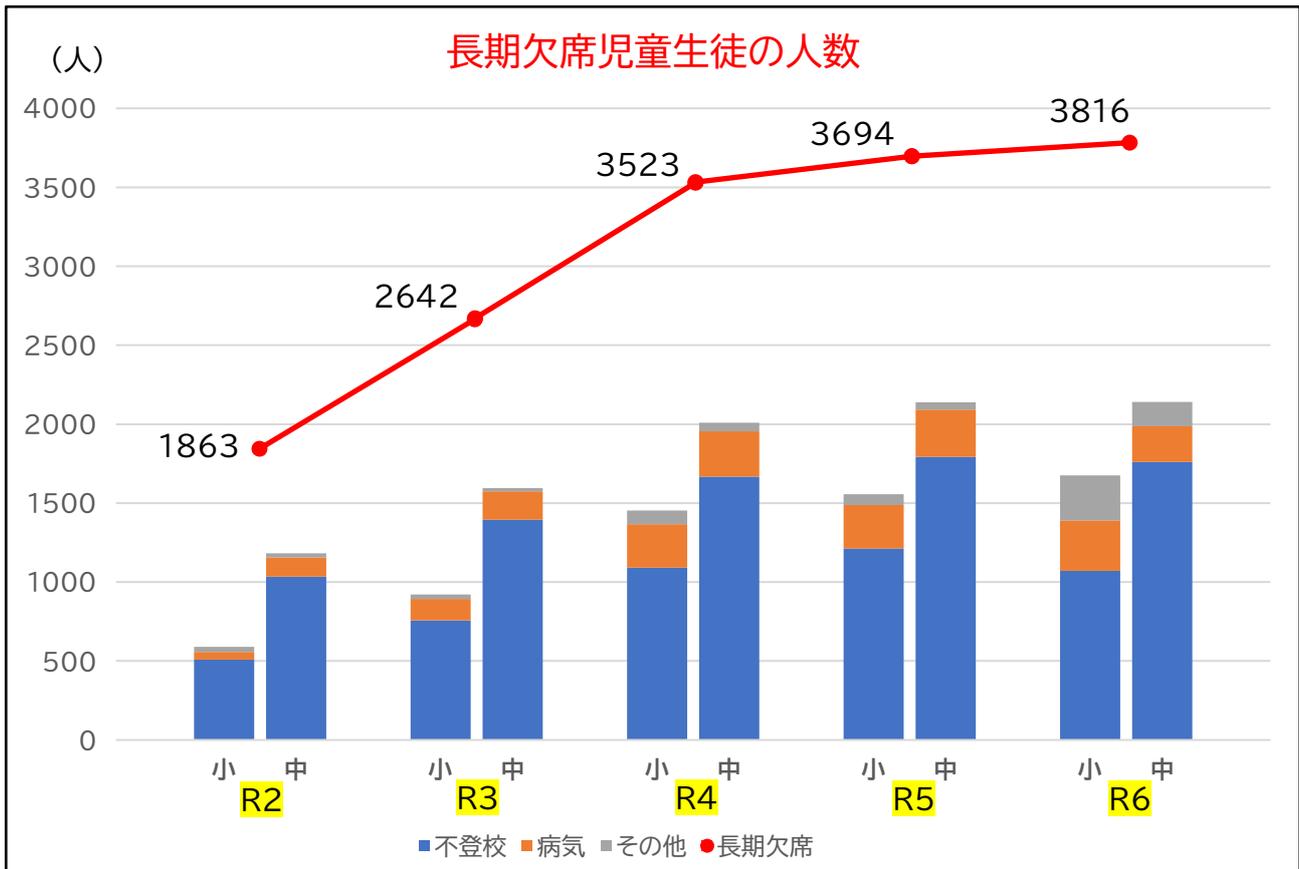
○発生件数における小・中学校の内訳は小学校573件(+211件)【対教師暴力175件(+106件)、生徒間暴力326件(+59件)、対人暴力0件(-2件)、器物損壊72件(+48件)】、中学校296件(+144件)【対教師暴力28件(+12件)、生徒間暴力222件(+101件)、対人暴力2件(-1件)、器物損壊44件(+32件)】である。※()内は前年度との比較

2 いじめの状況について



○認知件数はここ数年増加傾向であったが、今年度は全体で約1,100件減少した。特に小学校で大幅な減少が見られた。いじめの認知漏れがないかどうか、学校いじめ防止等対策委員会を利用するなどして、適宜検証していく必要がある。令和6年度「熊本市心のアンケート」(無記名式)で「いじめられたことがある」と回答した児童生徒数は4,792人(小4,381人、中411人)だった。生徒指導主任・主事会等でいじめの認知や対応について啓発していく。

3 長期欠席児童生徒の状況について



	R2		R3		R4		R5		R6	
	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中
不登校	508	1034	757	1395	1092	1668	1213	1792	1072	1761
病気	49	121	136	179	274	287	275	301	319	226
その他	33	27	28	20	87	54	68	45	285	153
長期欠席	1863		2642		3523		3694		3816	

○長期欠席児童生徒数は年々増加している。本市ではスクールカウンセラー50人(+2人)、スクールソーシャルワーカー21人、不登校対策サポーター21人を配置し、不登校の未然防止、早期発見及び関係機関につなぐ体制づくりに努めている。※()内は前年度との比較

○教育支援センターフレンドリーを6か所設置し、児童生徒の居場所づくりを行っている。大学生が不登校児童生徒の話し相手や遊び相手になるユア・フレンド事業も継続して実施している。フレンドリーオンラインも本格実施4年目となり、不登校児童生徒の心の居場所づくりと学習機会の保障に努めている。

○教育支援センターフレンドリー正式通所人数は74人で、内訳は小学生30人(+4人)、中学生44人(-8人)である。※()内は前年度との比較

○ユア・フレンド活用人数は368人で、内訳は小学生160人(+12人)、中学生208人(+30人)である。※()内は前年度との比較

○フレンドリーオンライン申込者は487人で、内訳は小学生135人(+1人)、中学生352人(+56人)である。※()内は前年度との比較